

# 『読めた』『わかった』『できた』 読み書きアセスメント ～中学校版～



## 活用&支援マニュアル編

東京都教育委員会は、平成28年2月に策定した、「東京都発達障害教育推進計画」に基づき、小学校における学習の「つまずき」を把握するアセスメント方法を平成28年度に開発いたしました。

これを踏まえ、平成29年度は中学校版の開発を進めてまいりました。中学校では、学習内容がより高度になるため、新たな困難さが生じる可能性があります。

発達障害のある生徒一人一人の、小学生とは異なる実態を適切に把握し、指導・支援していくことが重要です。

本冊子は「通常の学級で活用するアセスメントと支援」と「通級による指導で活用するアセスメントと支援」の二部構成になっており、それぞれ「学校で見られる行動」と「読み書き」に関するアセスメント、及びアセスメントの結果を踏まえた支援方法や学習支援教材を紹介しています。

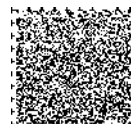
なお、本冊子にはアセスメント結果を集計し、生徒の実態を多角的に把握できるソフトと読み書きスキルを学習するための支援教材が入ったCDを付けています。その他、本冊子を有効に活用していただくための「読み書きアセスメントDVD」及び、冊子「個別指導事例集編」を併せて御活用いただき、生徒一人一人に応じた指導の充実を図られますようお願い申し上げます。

**【重要】** 本冊子は、生徒の学習の「つまずき」の状況を把握し、支援するためものです。アセスメント結果により、障害の有無を判断することはできません。

また、アセスメント結果の取り扱いは、各学校等で定められた個人情報の取り扱いに関する規定等に従い、個人情報の保護を厳格に行ってください。

平成30年3月

東京都教育委員会



# もくじ

本冊子の構成	2		
【I 通常の学級で活用するアセスメントと支援】		【II 通級による指導で活用するアセスメントと支援】	
1 一斉学習での学習支援について	3	1 グループ学習・個別学習での学習支援について	19
2 アセスメント	4	2 アセスメント	20
A：学校で見られる行動のチェックリスト	5	A：学校で見られる行動のチェックリスト	21
課題①～③への対応	6	課題①～②への対応	22
B：読み書き達成テスト		B：読み書き達成テスト	
課題①文章読解テスト	12	課題①～⑮への対応	26
【文章読解・コラム】	13		
課題②図表の読み取りテスト	14	C：支援の例	
課題③漢字の読み書きテスト	15	読解①②	37
課題④英単語つづりテスト	16	平仮名・漢字の流ちょうな読み①②	39
3 CDソフトの使い方		漢字単語の読み①～③	41
「読み書きアセスメント」の使い方	17	漢字単語の書き①～④	44
「読み書きアセスメント」の活用の仕方	18	ローマ字読み・英語つづり①～④	48
		3 CDソフトの使い方	53

## 本冊子の構成

本冊子は、「通常の学級で活用するアセスメントと支援」と「通級による指導で活用するアセスメントと支援」の二部構成で編成し、「行動への支援」と「学習（読み書き）への支援」について、アセスメントの方法や指導事例等を紹介しています。

### I 通常の学級で活用するアセスメントと支援

### II 通級による指導で活用するアセスメントと支援

#### 実態把握（アセスメント）

##### 【学校で見られる行動への支援】

- 学校で見られる行動のチェックリストの活用
- ・情報の読み取り
- ・情報の活用
- ・学校生活での自己表現
- ・注意行動
- ・社会的行動

##### 【学習（読み書き）への支援】

- 読み書き達成テストの実施と解釈
- ・情報の読み取りと活用
- ・平仮名单語の読み
- ・漢字の読み書き
- ・視覚スキルと聴覚記憶
- ・英単語のつづり

※「問題の背景」「行動の特徴」「状況の把握」について確認する。

#### 支援の考え方（実態把握に基づいた生徒一人一人の障害特性に応じた支援の実施）





## I 通常の学級で活用するアセスメントと支援

### 2 アセスメント ～クラスの特徴を知り、指導の工夫につなげる～

適切な指導・支援を実施するために、以下の二つのアセスメントを行います。

#### A 「学校で見られる行動のチェックリスト」

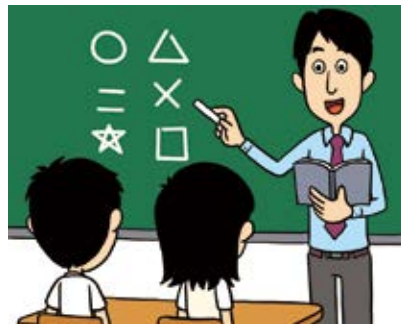
#### B 「読み書き達成テスト」

#### A：学校で見られる行動のチェックリスト

##### 【課題】

- ①情報の読み取り
- ②情報の活用
- ③学校生活での自己表現

詳細→P.6～11



通常の学級で活用する「学校で見られる行動のチェックリスト」では、一斉学習の場面で見られる行動の弱さを把握します。情報の読み取りと活用の弱さを①「情報の読み取り」と②「情報の活用」で、対人関係の弱さを③「学校生活での自己表現」で評価します。

これらの項目に関連する弱さがある場合には、「情報の読み取りと活用」に関する認知力の弱さが要因となっていることが考えられるため、読み書き達成テスト①と②を行い、各テストの評価を合わせて当該生徒の実態を把握します。

#### B：読み書き達成テスト

##### 【課題】

- ①文章読解
- ②図表の読み取り
- ③漢字の読み書き
- ④英単語つづり

詳細→P.12～16



読み書き達成テストは、情報の読み取りと活用に関する弱さを、①「文章読解」②「図表の読み取り」の課題で評価することができます。また、特定の学習習得に関係した弱さを③「漢字の読み書き」と④「英単語つづり」の課題で評価することができます。①～④の課題で把握した実態に基づいて、特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会等で、教員間の情報共有を行い、効果的な学習支援の方策を考えていくことが大切です。

A：学校で見られる行動のチェックリスト／チェックリスト(コピー用)

## 学校で見られる行動のチェックリスト

— 通常の学級 —

生徒名 [                      ] 記入者 [                      ] 記入日 (      年      月      日 )

情報の読み取り		該当しない	あまり 該当しない	少し 該当する	該当する
①聞く	言われたことの要点を理解することができる。	1	2	3	4
②読む	文章の要点を読み取ることができる。	1	2	3	4
情報の活用					
③話す	要点をまとめる、一般的な表現を使うなど、分かりやすく話すことができる。	1	2	3	4
④書く	要点をまとめる、一般的な表現を使うなど、分かりやすく書くことができる。	1	2	3	4
学校生活での自己表現					
⑤得意なことや苦手なこと の表現	自分の得意なことを把握して、相手に伝えることができる。	1	2	3	4
⑥トラブル状況での 理由の説明	トラブル状況で自分に原因があったり注意を受けたりしたとき、理由を説明でき、謝ることができる。	1	2	3	4

\* 1、2、3、4は、それぞれの行動項目が該当する程度を表します。

学校で見られる行動のチェックリストでは、「学校生活での自己表現」を取り上げています。この項目は、自分の「得意なことや苦手なことの表現」、「トラブル状況での理由の説明」で構成されています。この項目に関する困難があると、生徒本人が「これらの行動に必要な認知力が弱い」ために、行動を調整することが難しくなっている可能性があります。このことは、生活指導に関する様々な課題につながる場合があります。「情報の読み取り」と「情報の活用」という読み書きスキルが十分に身に付いていないと、「学校生活での自己表現」の弱さをもたらします。

学校生活での自己表現

本人自身の状況  
把握の困難

生活指導に関する課題

得意なことや苦手なこと  
の表現

トラブル状況での  
理由の説明

要点を聞いて（読んで）つかむ、  
情報の読み取り

要点をまとめて話す・書く、情報の活用

## I 通常の学級で活用するアセスメントと支援

### A：学校で見られる行動のチェックリスト／課題① 情報の読み取り(聞く)

#### 学校で見られる課題

話を理解していても、  
要点を理解することが  
苦手である



人の話を、自分の知識と関連  
付けて理解することが苦手で  
あり、自分の意見を言うのが  
苦手である

#### 行動の特徴

- 注意を向けて聞くことが苦手である。（注意記憶の弱さ）
- 言葉の意味の把握が苦手である。（要点把握の弱さ）
- 話のテーマを理解した上で聞くことが難しい。（要点把握の弱さ）

#### 状況の把握

行動のチェックリストの「言われたことの要点を理解することができる。」の項目で把握します。

#### 支援の考え方

##### 【支援の手掛かり】

話の要点を聞いて理解することが苦手である場合には、その背景となる要因を「注意記憶の弱さ」と「要点把握の弱さ」の観点から理解すると、支援の手掛かりが見えてきます。

##### 【支援の工夫】

注意記憶の弱さ

- ・ 短い時間で区切りながら、話をする。
- ・ 「話のテーマ」や「分かっていること」などを、箇条書きにして生徒に示す。

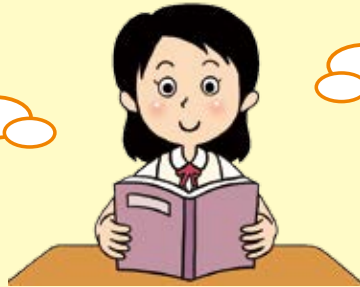
要点把握の弱さ

- ・ 何をポイントにして聞いたらよいか、あらかじめ伝えておく。
- ・ 聞き取るためのポイントを箇条書きにして示し、聞きながらメモをとるように指導する。
- ・ 話を理解する上で必要な事柄を、視覚的に示しておく。

## A：学校で見られる行動のチェックリスト／課題② 情報の読み取り(読む)

### 学校で見られる課題

文章を読んだ感想を求められると、文章のテーマと関連のないことを答える



文章を読んだ感想を求められても、自分の考えを述べるのが苦手である

### 行動の特徴

- 平仮名や漢字をスムーズに読むことが困難である。(流ちょうな読みの弱さ)
- 言葉の意味の把握が苦手である。(要点把握の弱さ)
- 文章のテーマを理解した上で、読もうとしない。(要点把握の弱さ)

### 状況の把握

行動のチェックリストの「文章の要点を読み取ることができる。」の項目で把握します。

### 支援の考え方

#### 【支援の手掛かり】

文章の要点を、読んで理解することが苦手である場合には、その背景となる要因を、「流ちょうな読みの弱さ」と「要点把握の弱さ」の観点から理解すると支援の手掛かりが見えてきます。

#### 【支援の工夫】

流ちょうな読みの弱さ

- ・文章中の平仮名や漢字の単語の読みが、正確で流ちょうになるように指導する。
- ・息継ぎのポイントや、文章の意味の切れ目を示す。

要点把握の弱さ

- ・何をポイントにして読んだらよいか、あらかじめ伝えておく。
- ・読み取るためのポイントを箇条書きにして示し、読みながらメモをとらせる。
- ・文章を理解する上で必要な事柄を、視覚的に示しておく。

## I 通常の学級で活用するアセスメントと支援

### A：学校で見られる行動のチェックリスト／課題③ 情報の活用(話す)

#### 学校で見られる課題

一般的な表現を使うなどし、要点を交えて、分かりやすく話すことが苦手である



相手の考えを踏まえて、説得力をもって話すことが苦手である

#### 行動の特徴

- 利用できる限られた言葉のみで話す。(要点把握の弱さ)
- 何のために話すのか、目的を考えた上で話すことをしない。(要点把握の弱さ)
- 話のテーマを理解した上で、話すことをしない。(要点把握の弱さ)
- 話す内容に、説得力があるものが少ない。(要点把握の弱さ)

#### 状況の把握

行動のチェックリストの「要点をまとめる、一般的な表現を使うなど、分かりやすく話すことができる。」の項目で把握します。

#### 支援の考え方

##### 【支援の手掛かり】

テーマに沿ったまとまりのある話をするのが苦手である場合には、その背景となる要因を、「要点把握の弱さ」の観点から理解すると支援の手掛かりが見えてきます。

##### 【支援の工夫】

要点把握の弱さ

- ・ 何をポイントにして話したらよいか、あらかじめ伝えておく。
- ・ 話すことのポイントを箇条書きにして示し、それを見ながら話をさせる。
- ・ 話す上で必要な事柄を、視覚的に示しておく。



## A：学校で見られる行動のチェックリスト／課題④ 情報の活用(書く)

### 学校で見られる課題

要点が、分かりやすい文章を書くことが苦手である



根拠に基づき、自分の意見を示すなど、説得力のある文章を書くことが苦手である

### 行動の特徴

- 平仮名や漢字の読み書きに時間が掛かる。(流ちょうな読み書きの弱さ)
- 言葉の意味の把握が苦手である。(要点把握の弱さ)
- 何のために書くのか、目的を考えた上で書くことをしない。(要点把握の弱さ)
- 文章のテーマを理解した上で、書こうとしない。(要点把握の弱さ)

### 状況の把握

行動のチェックリストの「要点をまとめる、一般的な表現を使うなど、分かりやすく書くことができる。」の項目で把握します。

### 支援の考え方

#### 【支援の手掛かり】

文章の要点を書くことが苦手である場合には、その背景となる要因を、「流ちょうな読み書きの弱さ」と「要点把握の弱さ」の観点から理解すると支援の手掛かりが見えてきます。

#### 【支援の工夫】

流ちょうな読み書きの弱さ

・ 文章中の平仮名や漢字の単語の読み書きが、正確で流ちょうになるように指導する。

要点把握の弱さ

・ 何をポイントにして書いたらよいか、あらかじめ伝えておく。

・ 書くポイントを箇条書きにして示した上で、書くよう指導する。

・ 書く上で必要な事柄を、視覚的に示しておく。

## I 通常の学級で活用するアセスメントと支援

### A：学校で見られる行動のチェックリスト／課題⑤ 学校生活での自己表現(得意なことや苦手なことの表現)

#### 学校で見られる課題

明らかに成績の偏りがあるのに、それに対して対処しようとしていない



学級の活動に対して消極的で、自分の得意な力を生かして、活動に参加しようとしていない

#### 行動の特徴

- 自分の得意なことをアピールすることに消極的である。(得意なことの把握の弱さ)
- 学級全体での活動に対して消極的である。(得意なことの把握の弱さ)
- 自分の読み書きの苦手等を友人に知られないようにしている。(苦手なことの把握の弱さ)

#### 状況の把握

行動のチェックリストの「自分の得意なことを把握して、相手に伝えることができる。」の項目で把握します。

#### 支援の考え方

##### 【支援の手掛かり】

学校生活で自分を表現することが難しい場合には、その背景となる要因を、「得意なことの把握の弱さ」と「苦手なことの把握の弱さ」の観点から理解すると支援の手掛かりが見えてきます。

##### 【支援の工夫】

得意なことの把握の弱さ

- ・自分の得意なことをアピールしてうまくいった事例について紹介する。
- ・学級の中で、アピールできる状況を設定する。
- ・学級の中でアピールできることには、どんなことがあるのか本人と相談して確認する。

苦手なことの把握の弱さ

- ・学習上の苦手なことが明瞭な場合には、それに対する対処の仕方をアドバイスする。
- ・苦手なことに対する配慮を、周囲に依頼するようアドバイスする。

A：学校で見られる行動のチェックリスト／課題⑥ 学校生活での自己表現(トラブル状況での理由の説明)

学校で見られる課題

学校生活におけるトラブル状況で、トラブルの理由や経緯をうまく説明できない



トラブルで、自分に誤りや責任があったときに、うまく謝ることができない

行動の特徴

- トラブルがあったときに、自分本位なことを主張して、トラブルの経緯を説明できない。(トラブル状況の要点把握の弱さ)
- トラブルがあったときに、相手のことを考えて、うまく謝ることができない。(謝り方の困難さ)

状況の把握

行動のチェックリストの「トラブル状況で自分に原因があったり注意を受けたりしたとき、理由を説明でき、謝ることができる。」の項目で把握します。

支援の考え方

【支援の手掛かり】

トラブル状況で謝ることが難しい場合には、その背景となる要因を、「トラブル状況の要点把握の弱さ」と「謝り方の困難さ」の観点から理解すると支援の手掛かりが見えてきます。

【支援の工夫】

トラブル状況の要点把握の弱さ

- ・ トラブル状況の要点把握の仕方を指導する。
- ・ 自分の行動について説明する仕方を指導する。

謝り方の困難さ

- ・ 対人関係のトラブルでの謝り方を指導する。
- ・ その他のトラブルでの謝り方を指導する。
- ・ 丁寧に謝るとうまくいくことを指導する。





## コラム 1 読解とマクロルール

長い文章全体を理解することは、文や段落についての意味理解（マイクロ命題）と文章全体の要点の理解（マクロ理解）に分けることができます。

文章全体の要点を理解するためには、文や段落の意味の相互の関係について判断する必要があります。この相互関係の判断に必要なルールは、マクロルールと呼ばれます。代表的なルールとして、三つのマクロルールが知られています。

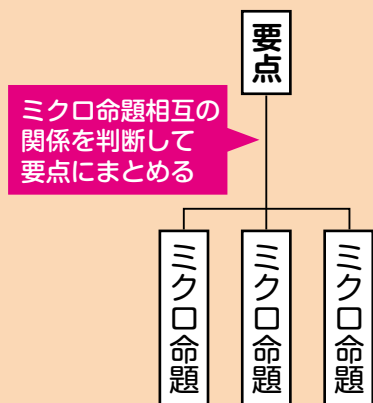
- ①削除ルール：無関係な情報を外します。
- ②一般化ルール：上位カテゴリーの言葉で、置き換えます。
- ③構成ルール：いくつかの文を違う文章で、短く表現します。

これらのルールの習得は、小学4年生頃から始まり、一般化ルールや構成ルールを効果的に適用する力は、中学生以降も発達します。

\*マクロルールの活用については、P.37 も参考にしてください。

### 要点の理解

【マクロ理解】



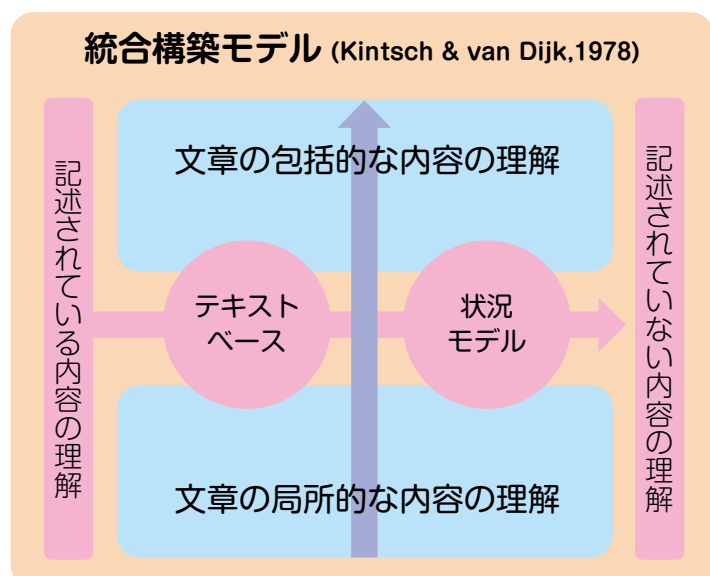
## コラム 2 読解と統合構築モデル

読解において、内容理解のレベルを説明する上で、統合構築モデル(Kintsch & van Dijk,1978)は有効であるとされています。まず、読解のレベルは、文の一部の理解から、文章全体の理解へと進みます。

一方で、読解のレベルは、記述されている内容の理解から、読み手の知識に基づいた、記述されていない内容の理解（テキストベースから状況モデルへの理解）へと進みます。様々な読解のレベルは、これらの段階のどこかに位置すると考えられます。

中学生の読解では、学年が進むにつれて、文章を記述されていない内容を含めて包括的に理解し、状況モデルに基づく読解が求められるようになっていきます。

### 統合構築モデル (Kintsch & van Dijk,1978)





## B：読み書き達成テスト／課題③ 漢字の読み書きテスト

### 行動の特徴

- 抽象的な概念を表す漢字単語について、読めなかったり、適当に読んだりすることが多い。
- 漢字を書くことが苦手で、平仮名で書くことが多い。
- 漢字テストで、空欄が多い。

### アセスメント方法

- 「漢字の読みテスト」は、常用漢字を含めてテストします。「漢字の書きテスト」では、小学5年生の漢字単語についてテストします。正しく読み書きできた漢字単語の数を得点とします。

### <漢字の読み書きテスト>

漢字の読みテスト

この漢字の読みテストは、小学5年生の漢字の中から選ばれています。正しい読みを3分間で記入してください。

① 箇所	② 訴訟	③ 順延	④ 納涼	⑤ 葬地	⑥ 顕著	⑦ 代償	⑧ 秩序	⑨ 従来	⑩ 納入
( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

漢字の書きテスト

この漢字の書きテストは、小学5年生の漢字の中から選ばれています。正しい書き方を3分間で記入してください。

① きんだがが ふえる	② 野菜を 刈り取る	③ ひょうご のふり	④ こくさんの 車
( )	( )	( )	( )

### 支援の考え方

#### 【漢字単語の読み支援：単語の意味についてのイメージを明確にする指導】

小学生のときに、音読困難であった児童の多くは、中学生になると抽象的な概念を表す漢字単語について読みに困難さを示します。音読漢字の意味を表すイラストで表して、読みの定着をはかります。また、生徒が経験したエピソードを関係させて読みを指導します。通級による指導での指導方法（P.43）は効果的です。

#### 【漢字単語の書き支援：困難さのタイプに合わせた指導】

漢字単語の読みに困難さを示す生徒では、漢字単語の読みと合わせて、書きの指導を行います。漢字の形を構成する部品に分解し、部品の構成をイラストを使って本人が表現することで、視覚的イメージと関連した理解を促す指導は効果的です。

漢字単語の書きのみに困難を示す生徒には、漢字の部品を本人が想起しやすい言葉に置き換えさせ、言語的な理解を促す指導が効果的です。また、通級による指導での指導方法（P.46）は効果的です。

# I 通常の学級で活用するアセスメントと支援

## B：読み書き達成テスト／課題④ 英単語つづりテスト

### 行動の特徴

- 文字と音の対応が規則的な単語でも、読んだり書いたりすることが苦手である。
- 母音を挿入する(例bedをbeddoと書く)など、ローマ字表記にする誤りが多い。

### アセスメント方法

- 「英単語つづりテスト」では、中学1～3年生で異なる基礎単語について、つづりを正しく書くことができたものを得点とします。

### <英単語つづりテスト>

英単語綴りテスト

一年生はこの問題を解きましょう

(問題)書き:一年生問題  
次の日本語の意味にあうように、( )の中に英単語を書き入れましょう。  
※答えはすべて、アルファベットを使って、英語で書きましょう※

①名前	( )
②読む	( )
③(スポーツなどを)する、遊ぶ	( )
④本	( )
⑤ねこ	( )
⑥ペン	( )
⑦手	( )
⑧男の子	( )
⑨かばん	( )
⑩好き	( )

### 支援の考え方

英単語のつづり学習は、以下の三つのスキルによって支えられています。この三つのうち、弱いスキルの習得を目指すことで、英単語つづりを学習するための仕方を身に付けることができます。弱いスキルは、P.34～36のアセスメントで把握できます。

#### 学習の仕方を習得するための支援

#### 英単語つづり学習

- ローマ字の知識  
(orange をオレンジと言って覚える)  
※支援ワークの使用方法は P.54 を参照※
- 単語の視覚イメージの形成  
(単語の形態を見たまま覚える)  
※支援ワークの使用方法は P.54 を参照※
- 英語独自のつづりのルールの知識  
(make はマケではなくメイクと読む)  
※支援ワークの使用方法は P.54 を参照※

- ・アルファベットの文字と音の対応を理解する  
・音を足して、新しい音を作る (S+A=SA)
- ・単語をフラッシュカードですばやく読む  
・誤った単語のつづりを修正する
- ・代表的なつづりのルールを学習する  
・同じつづりを持つ単語をまとめて学習する



### 3 CD ソフトの使い方 / 「読み書きアセスメント」の使い方 (通常の学級版)

「テストの得点を入力」をクリックして、各生徒のテストの得点を入力します。生徒ごとの所見が出るので、確認します。

テスト得点の入力・評価

生徒氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生徒氏名1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生徒氏名2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生徒氏名3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生徒氏名4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生徒氏名5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生徒氏名6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生徒氏名7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生徒氏名8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生徒氏名9	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生徒氏名10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生徒氏名11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生徒氏名12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生徒氏名13	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生徒氏名14	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生徒氏名15	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生徒氏名16	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生徒氏名17	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

「一覧を印刷 (読み書き)」をクリックすると印刷されます。印刷は、「通常使うプリンタ」に出力されます。

読み書き達成度テスト (ATRW) 報告書

入力して下さい 1年 2組

◆読み書き達成度テスト結果

生徒氏名	国語の読み書き	算数の読み書き	英語の読み書き
生徒氏名1	1	2	3
生徒氏名2	1	2	3
生徒氏名3	1	2	3
生徒氏名4	1	2	3
生徒氏名5	1	2	3
生徒氏名6	1	2	3
生徒氏名7	1	2	3
生徒氏名8	1	2	3
生徒氏名9	1	2	3
生徒氏名10	1	2	3
生徒氏名11	1	2	3
生徒氏名12	1	2	3
生徒氏名13	1	2	3
生徒氏名14	1	2	3
生徒氏名15	1	2	3
生徒氏名16	1	2	3
生徒氏名17	1	2	3

\*1 ■や2 □が重複している生徒は、学習上の配慮が必要

#### 基本の設定

作業を終了するときには、情報・得点を保存します。

読み書きアセスメント (通常の学級版)

学校の情報

学校名 入力して下さい

学年 1年 担任 入力して下さい

学級 2組 表示人数の設定 32

生徒氏名

6	生徒氏名6	せいとしめい6	表示
7	生徒氏名7	せいとしめい7	表示
8	生徒氏名8	せいとしめい8	表示
9	生徒氏名9	せいとしめい9	表示
10	生徒氏名10	せいとしめい10	表示
11	生徒氏名11	せいとしめい11	表示
12	生徒氏名12	せいとしめい12	表示

操作

テストをPDF出力、印刷します。 [テストを印刷]

テストの得点を入力し、報告書を印刷します。 [テストの得点を入力]

支援教材を表示します。 [支援教材]

既定の座席配置で、生徒の学習状況を表示します。 [座席表で結果を表示]

「一覧」や「座席表」で表示する人数を設定します。

「チェックリスト」「達成テスト」をプリントします。

名前を入力します。

支援教材をプリントします。

座席表で結果を表示します。

図表の読み取り・情報活用・英単語のつづり

印刷できます!



座席は、ドラッグして、実態に合わせた配置に変更することができます。

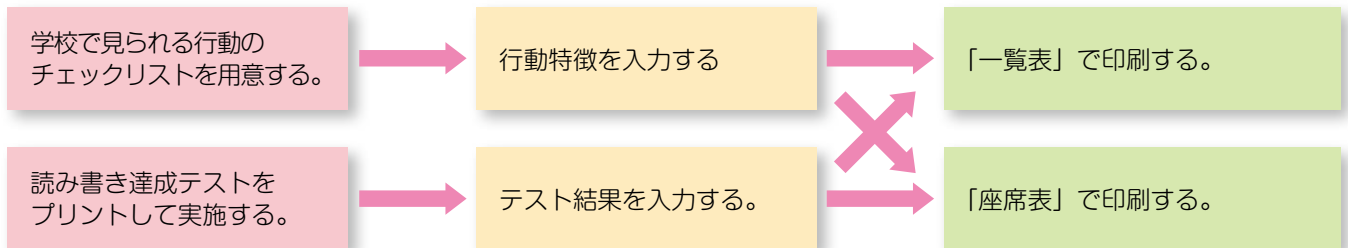
座席表

生徒氏名1	生徒氏名2	生徒氏名3	生徒氏名4	生徒氏名5	生徒氏名6	生徒氏名7	生徒氏名8
生徒氏名1	生徒氏名2	生徒氏名3	生徒氏名4	生徒氏名5	生徒氏名6	生徒氏名7	生徒氏名8
生徒氏名9	生徒氏名10	生徒氏名11	生徒氏名12	生徒氏名13	生徒氏名14	生徒氏名15	生徒氏名16
生徒氏名17	生徒氏名18	生徒氏名19	生徒氏名20	生徒氏名21	生徒氏名22	生徒氏名23	生徒氏名24

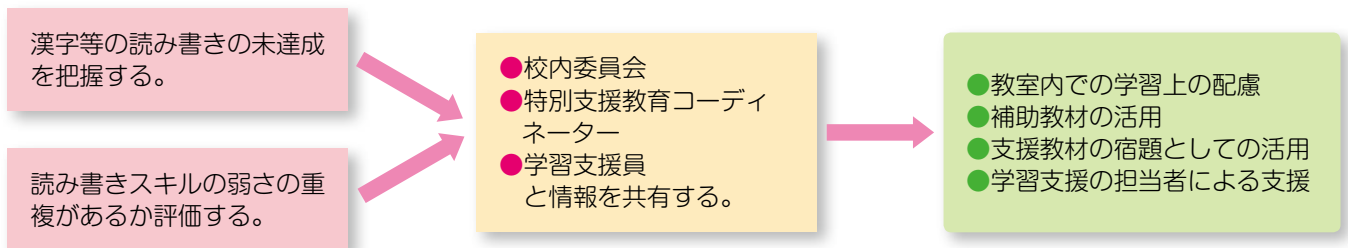
# I 通常の学級で活用するアセスメントと支援

## 「読み書きアセスメント」の活用の仕方

### 課題を知る！（チェックリスト＋達成テスト）



### 学習支援につなげる！（達成テスト）



### 支援教材につなげる！（達成テスト）

